

「早く1軍マウンドで」意気込み

及川雅貴投手(横浜高校)が阪神タイガースに入団し、本市から新たにプロ野球選手が誕生しました。埼玉西武ライオンズ・伊藤翔投手、千葉ロッテマリーンズ・鎌田光津希投手に続く3年連続のプロ選出に、郷土出身投手の活躍が期待されます。



太田市長を表敬訪問した及川投手

およかわまさき ●平成13年4月生まれ(18歳)。高野出身。八日市場第二中学校卒業後、横浜高校に進学。小学校3年生から須賀スポーツ少年団で野球を始め、中学校時は匝瑳リトルシニアに所属し、15歳以下日本代表にも選出。左投左打。球種は最速153kmのストレート、スライダー、カーブ、チェンジアップ。背番号37。身長183cm、体重74kg。

昨年のプロ野球ドラフト会議で阪神タイガースから3位指名を受け入団した及川投手が、12月26日に市役所を訪れ、太田市長に入団を報告。「精一杯練習して、早く1軍で投げられるよう頑張りたいです」と意気込みを語りました。

須賀地区高野出身の及川投手は、小学校3年生で須賀スポーツ少年団に入団し野球を始め、6年生で千葉ロッテマリーンズジュニアに選出されました。中学校に入学すると、匝瑳リトルシニアに所属し才能を発揮。3年時に侍ジャパンU-15日本代表のメンバーとして日の丸を背負って戦い、チームの準優勝に貢献しました。

名門・横浜高校に進学すると、エースとして甲子園のマウンドに立ち、3年時には「高

校ビッグ4」の一人として活躍しました。

今度は夢を与える番

表敬訪問には及川投手の両親や匝瑳リトルシニアの関係者らが同席。太田市長は、「お世話になった方々に感謝の気持ちを持って、努力を重ねて甲子園のマウンドで躍動することを期待しています」と及川投手を激励。「匝瑳市を背負って活躍してほしい。市民全員で応援したい」とエールを送りました。

小さい頃からの夢をかなえた及川投手は、記者団に対して「これからは夢を与える立場

野球を続けたい、やってみたいと思う子どもたちが増えるようなプレーがしたいです」と話し、また、夢見る地元の野球少年に向けては「最後まで諦めず、目標を決めたらそれに向かって最後まで貫いて欲しい」と投げかけました。

1月6日には球団の寮「虎風荘」に入寮した及川投手。直前に行った公開自主トレニングでは、古巣・匝瑳リトルシニアの専用グラウンドを訪問し、後輩たちからの熱いまなざしを受けながら、ダッシュやキャッチボールなどで汗を流しました。



匝瑳リトルシニアのグラウンドで自主トレを行った及川選手。
1 匝瑳リトルシニアの後輩たちと 2 後輩たちの前でキャッチボールを披露 3 当時汗を流した坂道で飛躍を誓ってジャンプ



早回し飛びにチャレンジする子どもたち

ユニーク競技で交流

少年の日・地域のつどい大会

海匝地区の子どもたちが軽スポーツを通じて交流を深める「少年の日・地域のつどい大会」が、12月7日に八日市場ドームで行われました。

このイベントは、海匝地区青少年相談員連絡協議会が開いたもので、匝瑳、銚子、旭の各市の小学校から約40人が参加。参加者は3グループに分かれ、「3種競技ジュニア選手権」と題して、ストラックアウト、スポーツ吹き矢、早回し跳びで総合得点を競い、学校の枠を超えて友情を深めました。

コンサートでオルガンをお披露目

豊和保育所へ寄贈

豊和村づくり協議会から豊和保育所へ、オルガンと倉庫、屋外掲示板（総額約70万円）が寄贈され、オルガンのお披露目を兼ねたコンサートが12月19日に同所で行われました。

この日は、奏者に地元のミュージシャン・近藤剛志さんを招いて、アニメの名曲などを披露。子どもたちも一緒になってパーカッションの合同演奏も行いました。

同協議会では、ソーラーシェアリング事業での太陽光発電売却益を地元還元のための活動に充当しており、今回の寄贈もその一環です。



オルガンを演奏する近藤さん(奥)とパーカッションをする子どもたち



グループワークで意見を交わす高校生

地元起業への第一歩に

高校生がビジネスデザインを学ぶ

高校生がキャリア教育の一環として起業について学ぶ講座が、11月30日に商工会館で行われました。

この講座は、大学卒業後に地元の産業発展に貢献できる人材を育成することを目的として、匝瑳高校と市商工会、市が連携して実施したものです。同校の生徒8人が参加し、地元起業家の体験談として、古民家活用による地域貢献を目指す「飯高まるごと体験博物館」の共同代表・阪本泰之さんの講話を聴講。その後、千葉県産業振興センターのコーディネーター・楊典子さんの指導でグループワークを通じたビジネスモデルのデザインを行い、起業の基礎を学びました。

強盗犯対策に手順を確認

金融機関を対象とした強盗事件の対応訓練が12月24日、八日市場郵便局で行われました。

訓練は、匝瑳警察署と市内の金融機関で構成する金融機関防犯協会が合同で取り組んだもので、16機関が参加。一般人を装った強盗犯が窓口で現金を要求、奪取して逃走後に通報



犯人の特徴を伝える郵便局員

する想定で実施され、窓口の郵便局職員が緊急通報で駆け付けた警察官に犯人の特徴を告げるといった一連の流れを確認しました。

新成人が抽選に花を添える

市民ふれあいセンターで1月12日、「そうさ歳末ジャンボ宝くじ抽選会」が行われました。

抽選のアシスタントにはその日成人式を終えたばかりの振り袖姿の新成人5人が参加し、イベントに花を添えました。

新成人たちは真剣な表情で当選番号を決める的へ向かって矢を放ち、5等から1等へと当選番号が決定するたび、会場内に歓声が響きました。



当選番号を決める的へ矢を放つ新成人